

東儀秀樹 with special guest 溝口 肇

7月26日 (金)

ticket
好評販売中!!

雅楽のイメージを刷新し続ける「東儀秀樹」、美しいチェロの音色で人々を魅了する「溝口 肇」、ふたりが織り成す極上のハーモニーをお楽しみください。



© Universal Classics & Jazz/Ayako Yamamoto

東儀秀樹 (Hideki Togi) / 雅楽師 プロフィール

1959年東京生まれ。東儀家は、奈良時代から今日まで1300年間雅楽を世襲してきた楽家。父の仕事の関係で幼少期を海外で過ごし、あらゆるジャンルの音楽を吸収しながら成長した。宮内庁楽部在籍中は、箏(ひちりき)を主に、琵琶、太鼓類、歌、舞、チェロを担当。宮中儀式や皇居での雅楽演奏会をはじめ、海外公演にも参加し、日本の伝統文化の紹介と国際親善の役割の一翼を担ってきた。1996年アルバム「東儀秀樹」でデビュー。雅楽の持ち味を生かした独自の表現に情熱を傾

ける。2018年8月、映画「レ・ミゼラブル」の「On My Own」、黒澤明監督作品「生きる」の「ゴンドラの唄」など、国内外で大ヒットした映画音楽を収録した最新アルバム「ヒチリキ・シネマ」をリリース。

2019年8月より東儀秀樹、古澤巖、cobaによるTFC55 LEVEL5全国コンサートツアーがスタート。

詳細は<http://www.togifurusawacoba.jp/>



溝口 肇 (Hajime Mizoguchi) / チェリスト・作曲家、プロデューサー プロフィール

指揮者カラヤンをテレビで見て3歳からピアノを、11歳よりチェロを始める。東京芸術大学卒。1986年ソニーよりデビュー。以後、クラシック、ポップス、ロックなど幅広いジャンルで活躍。テレビ番組「世界の車窓から」のテーマ曲はあまりにも有名。

自身の音楽を「心の覚醒」と位置付け、奏でるチェロの美しさ、ホスピタリティあふれるサウンドは、ジャンルを越えて多くの人を魅了し続け、ミュージックシーンに独自のスタンスを確立している。

GRACE MUSIC LABELを主催し、CD制作、ハイレゾ音楽制作を行っている。最新鋭レコーディングにも精通し、ハイレゾ最高峰であるDSDでの制作、配信も精力的に行っている。

<演奏曲目> リベルタンゴ、世界の車窓から ほか

<バンドメンバー> 松本圭司 (ピアノ)、田中晋吾 (ベース)、天倉正敬 (ドラム)

2019津山市民総合音楽祭

入場料 500円 (合唱室内楽コンサートは共通券。1枚でI・II両方に入場できます。)

ticket
7/13 (土) 販売
開始!!

9月1日 (日) 合唱室内楽コンサートI

【会場】 ベルフォーレ津山

【時間】 11:30開場、12:00開演

【出演】 市民洋楽17団体

9月8日 (日) 合唱室内楽コンサートII

【会場】 ベルフォーレ津山

【時間】 11:30開場、12:00開演

【出演】 市民洋楽19団体

9月15日 (日) 日本音楽コンサート

【会場】 ベルフォーレ津山

【時間】 12:30開場、13:00開演

【出演】 市民邦楽7団体

【プレイガイド】

津山文化振興財団、ベルフォーレ津山、ヨシダミュージック、ピアノ工房アムズ、津山市勝北文化センター、津山市加茂町文化センター、久世エスパセンター

【お問い合わせ】 (公財) 津山文化振興財団 TEL 0868-24-0201

営業時間 / 月・火・水・金・土 (※木・日・祝日を除く)

9:00~17:30